

質疑応答（R7.11.8）

| | |
|----|---|
| 質問 | <ul style="list-style-type: none"> ・16号から南側はほとんど歩道がなく、通学が心配である。 ・児童の出生数は、20年間に2,000人以上から1,000人未満に減少したと聞いている。 ・今日の資料では、今後20年で児童数はそこまで減少していないので、見通しが甘いのではないか。 ・今後、児童数は減るので、スクールバスの対象範囲を広げても、乗せる人数は変わらないのではないか。 ・宮寺地区の道路状況は、他の地区と比較してどうか。 |
| 回答 | <ul style="list-style-type: none"> ・16号の南側に歩道のない道路が多いことは認識している。 ・グリーンベルトや路面の表示、ポストコーンなど、比較的軽易な対策は、順次行っていきたいと考えている。 ・歩道の整備や道路拡幅は、統合時期を超える長期間が必要と見込まれる。すべての道路を拡幅して歩道を整備することは、理想としては理解するが、現実的には難しい。対策が必要な箇所を洗い出し、必要があれば追加し、優先順位と実施可能な対策を検討し、対応していきたい。 ・資料5ページの児童数推計は、今年5月1日の0～5歳人口をもとに推計しており、今後の転出入での変動はあるとしても、ある程度確度の高い数字と考えている。別紙資料の推計は、令和7年は実績値、17年以降は「入間市人口ビジョン」（令和2年）をもとに推計した。推定時点が未来になるほど、増減の可能性の幅は大きくなるが、この数値が、現時点の推計値である。 ・スクールバスの範囲については、市内小学校の通学距離は、最大で直線2kmであることから、2km以上を対象範囲としている。 ・より広い範囲をスクールバスの対象とするには、他の小学校のスクールバス導入を検討する必要があるが生じるが、現時点では、市内全域にスクールバスを導入する考えはない。 ・統合によって通学区域が広がる、市内小学校の通学距離は最大で直線2km程度である、よって、2km以上の区域にスクールバスを導入する、との順で検討したものであるため、学校から2kmを基準とする考え方にご理解いただきたい。 ・他地区の道路との比較については、市内には、狭い道路が入り組んだ地域がないわけではない。他の地区と同等にしていこうということではなく、宮寺地区に必要な対策は何であるか、を検討していく必要があると考えている。 |
| 質問 | <ul style="list-style-type: none"> ・工事中の在校生への影響は。先に新校舎を建設し、完成後に古い校舎を取り壊すのか。 ・グラウンドの完成は古い校舎の取り壊し後か。 |
| 回答 | <ul style="list-style-type: none"> ・今の校舎を使いながら、敷地内の別の場所に新校舎を建設し、新校舎完成後に統合し、新校舎での授業を開始する。その後、現在の校舎を解体するという流れで考えている。建設の完成時期は13年度末、解体は14年度を想定している。 ・外構やグラウンドも校舎と同時に完成する想定だが、一部では解体工事と建設工事が並行したり、解体後に行われる工事が生じる可能性がある。具体的な順序や範囲は今後の設計で検討する。 |